

琉球大学学術リポジトリ

沖縄島嶼地域における「むら」価値の観光資源化に関する研究会

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学大学院観光科学研究科 公開日: 2012-01-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24564/0002006791

**沖縄島嶼地域における
「むら」価値の観光資源化に関する研究会**
**Research seminar on utilizing the Value of "Village Resources"
in the Okinawa Island Region as a Tourism Resource**

日 時：2010年2月11日 10:00~20:30

場 所：沖縄県立博物館実習室、那覇テラス会場

参加者：観光科学科・産業経営学科教員、招聘研究者

趣 旨

観光産業科学部では、沖縄の地域特性を踏まえた熱帯・亜熱帯科学、島嶼・海洋科学の研究拠点の構築に向けて、自然科学と人文科学が融合した学際的な基礎科学研究の推進と、地域の産業の創出に結びつく研究を推進している。本研究における「むら」は集落を意味し、「まち」に対比するものである。本研究会は、沖縄のむらにおける生産活動以外の観光資源を再評価するために、他のさまざまな地域における事例の紹介や評価方法から学び、それを沖縄における観光に応用する方策を探ることを目的とする。

スケジュール

- 10:00~10:15 学部長開催あいさつ(牛窪潔)
- 10:15~10:20 -農村の観光資源とは- (西村美彦)
- 10:20~10:45 西川芳昭(名古屋大学・国際開発研究科・教授)
島嶼における農業と観光を結び付ける資源管理の組織制度
—スコットランド離島部の比較調査から—
- 10:45~11:10 高橋公明(名古屋大学・国際開発研究科・教授)
島々はつながっている——古地図のなかの海域世界——
- 11:10~11:35 板垣啓四郎(東京農業大学・国際食料情報学部・教授)
可視化できない集落内在の伝統的諸資源をどのように観光に活かすか
- 11:35~11:45 休憩
- 11:45~11:50 -むらの元気をつくり、自分の力に気づく- (大島順子)
- 11:50~12:15 吉本哲郎(地元学ネットワーク主宰)
むらの元気をつくり、自分の力に気づく—地元学とは何か
- 12:15~12:35 質問
- 12:35~13:30 昼食
- 13:30~13:35 -健康を切り口とした観光開発- (荒川雅志)
- 13:35~14:00 米屋武文(静岡文化芸術大学・文化政策学部・教授)
観光資源としての食

- 14：00～14：05 一気づかなかった自然資源の観光価値－（松本晶子）
- 14：05～14：30 古市剛史（京都大学・霊長類研究所・教授）
何をどう見せるか：ウガンダ・カリンズ森林のエコツーリズム
- 14：30～14：55 中務真人（京都大学・理学研究科・教授）
古人類学上の遺跡と観光資源
- 14：55～15：05 質問
- 15：05～15：20 休憩
- 15：20～16：55 総合討論
- 16：55～17：00 研究科長あいさつ（平良一彦）
- 17：00～18：00 博物館見学
- 18：30～20：30 研究交流会（那覇テラス）